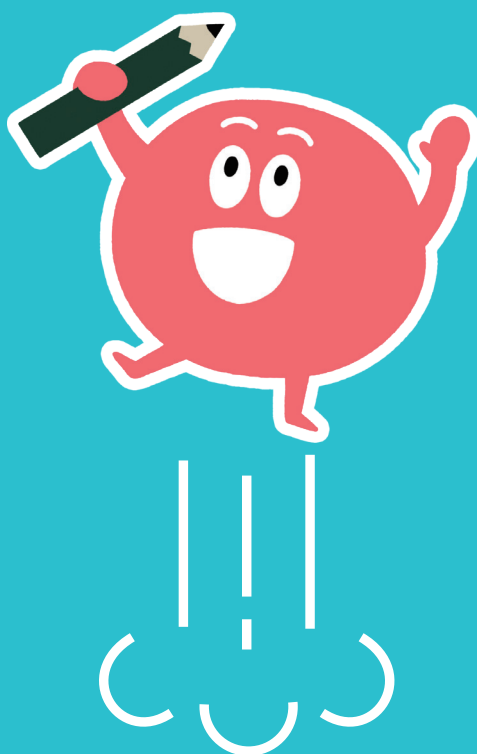


増補版

学習指導書付属

評価業務支援シート のご案内



光村図書ウェブサイトも
併せてご覧ください



光村図書

授業づくりに役立つ！

① 目ざす学びの姿が明確に

道徳科 評価業務支援シート（光村図書 中学3年）					
目ざす学びの姿					
ここを修正すると、「授業づくり」シートと、「期末評価」シートにも自動的に反映されます。 学年研修で検討をしたり、道徳推進担当や教務主任と検討したりして設定します。 「目ざす学びの姿」は、各学校の生徒の実態に応じて、適宜変更をしてください。 空いている部分は、オリジナルで追加できるようにしています。					
評価の視点	目ざす学びの姿	通知表所見文例（前半）	文字数	指導要録 所見文例	文字数
1 経験を振り返り	どの教材でも自分自身の経験を振り返りながら、道徳的価値を自分の生活の中に生かすことについて考える姿が見られました。		57	どの教材でも自分自身の経験を振り返りながら道徳的価値について考え、自分の生活の中にどのように生かしていくか、考えを深めようとする姿が見られた。	71
	どの教材においても主人公を自分に置き換えることを通して、道徳的価値のよさや、実現することの難しさについて、自分事として考えていました。		67	どの教材においても主人公を自分に置き換えることを通して、自分自身の行動や考えを見直しながら、道徳的価値を実現することの難しさについて、自分事として考えていた。	79
2 自分に置き換え	自分の経験をともに、教材の登場人物の心情を捉えながら、道徳的価値のよさや、それを実現することの難しさ、人間としての生き方について考える姿が見られました。		76	自分の経験をともに、教材の登場人物の心情を自分事として捉えながら、道徳的価値のよさや実現することの難しさ、人間としての生き方について考える姿が見られた。	76
	自分の生活を結び付けながら、道徳的価値のよさや実現すること			どの教材においても、教材と自分の生活を具体的に結び付けながら、	

年度の始めに、その学年の道徳科の授業で生徒にどんな力を身につけさせたいか、目ざす学びの姿を明確にすることができます。すでに入力されているものを活用してかまいませんし、学校の実態に応じて、編集することも可能です。



② 授業で何を学ぶか、どのように学ぶかが明確に

道徳科 評価業務支援シート（光村図書 中学3年）					
授業づくり					
「教材」と「本時の学習の主な内容」のみ、テキストを書き換えることが可能です。 ※セルを移動させると、連動する表示が変わってしまうおそれがありますので、変更は必ずテキストの書き換えのみにし、絶対にセルの移動はしないでください。					
教材	本時の学習の主な内容 何を学ぶか 本時に考えることを明確にしましょう。 ※必要に応じて修正が可能です。（文庫は：～について） ※各学校の指導計画に応じて、主なものをつ2設定できます。	（本時に）目ざす学びの姿 どのように学ぶか 本時に目ざす学びの姿を明確にしましょう。（選択式）			手立て 本時に目ざす学びの姿を どのように引き出すか、手立てを検討しましょう。
1 道徳の学習を始めよう	道徳科では何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて 1年間の道徳の学びの見直しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとすることについて	自分自身との関わり	1 経験を振り返り	どの教材でも自分自身の経験を振り返りながら、道徳的価値を自分の生活の中に生かすことについて考える姿が見られました。	
		多面的・多角的な見方へ	9 意見を尊重	他者の意見を尊重しながら議論の中で、新しい見方や考え方を生み出しつつ、道徳的価値のよさや大切さについて考える姿が見られました。	
2 がんばれ おまえ	自分を見つめることについて 自己を見つめ、充実した生き方をしたいこととすることについて	自分自身との関わり	2 自分に置き換え	どの教材においても主人公を自分に置き換えることを通して、道徳的価値のよさや、実現することの難しさについて、自分事として考えていました。	
		多面的・多角的な見方へ	10 意見を取り入れ	他の生徒の意見も取り入れながら、多面的・多角的な視点から自分の考えを振り返りあげ、人生の意味や道徳的価値について考えていました。	
				自分の生活を結び付けながら、道徳的価値のよさや実現すること	

ねらいに迫る授業計画を作成することができます。年間指導計画に基づいた学習内容が入力されていますが、各学校の実態に応じて、アレンジすることも可能です。「目ざす学びの姿」シートと「授業づくり」シートを活用すれば、具体的な授業計画・授業案を作成することができます。



評価に役立つ！

③ 日常評価が蓄積できる

NEW

増補版に収録の「日常評価メモ C」では、毎時間の授業後に、授業で見られた生徒の様子や発言、ワークシートやノートへの書き込みなども記録することができます。

道徳科 評価業務支援シート（光村図書 中学3年）										
日常評価メモA 「授業づくり」シートで設定した、「（本時に）目ざす学びの姿」を蓄積する										
教材	評価の視点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		光村 花子	光村 太郎							
1道徳の学習を始めよう	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	1 経験を振り返り 9 意見を尊重								
2がんばれ おまえ	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	2 自分に置き換え 10 意見を取り入れ								
3「こち亀」は、四十年間休みなし	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	4 生活を結び付けて 14 語り合う中で								
4私がピンク色のキャップをかぶるわけ	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	6 生き方に生かす 12 対話を通して 5 生き方を繋ぐ								

道徳科 評価業務支援シート（光村図書 中学3年）					
日常評価メモB 教材ごとに、一人一人の生徒にどのような学びの姿が					
教材	評価の視点	1 光村 花子	2 光村 太郎	3	
1道徳の学習を始めよう	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	4 生活を結び付けて 10 意見を取り入れ	1 経験を振り返り 11 耳を傾け		
2がんばれ おまえ	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	1 経験を振り返り 9 意見を尊重			
3「こち亀」は、四十年間休みなし	自分自身との関わり 多面的・多角的な見方へ	2 自分に置き換え 3 経験をもとに 4 生活を結び付けて 5 生き方を生かす 6 生き方に生かす 7 よりよく生きる 8 OQ			
4私がピンク色のキャップをかぶるわけ	多面的・多角的な見方へ				

道徳科 評価業務支援シート（光村図書 中学3年）					
日常評価メモC 教材ごとに、一人一人の生徒にどのような学びの姿が見られたか、記録する					
教材	評価の視点	1 光村 花子	2 光村 太郎	3	
1道徳の学習を始めよう					
2がんばれ おまえ	記述 「自分にもコンプレックスはあるけれど、否定的ではなく、肯定的に捉えようと思った。」と記述していました。				

日常評価メモを活用すれば、生徒の学びやよさを簡単に、かつ、具体的に記録することができます。



④ 評価文例が簡単に作成できる

道徳科 評価業務支援シート（光村図書 中学3年）

期末評価
1学期

「日常評価メモA」シート、「日常評価メモB」シート、「日常評価メモC」シートを確認しながら、入力しましょう。
※それぞれの項目で他のシートとどのように連動しているかは、「評価業務支援シートの使い方」を確認してください。
「評価業務支援シートの使い方」はこちら

評価文例を活用して、
授業中の生徒の発言やワークシートの記述、実際の学びの姿などを加え、
一人一人のよさがより伝わるように評価文を作成してください。
自動的に、文例が作成されます → WordやExcelにコピー＆ペーストして編集する

出席 番号	名前	成長した姿を選択 目ざす学びの姿へ 日常評価メモAへ 日常評価メモBへ 日常評価メモCへ	顕著に見られた 教材を選択 日常評価メモAへ 日常評価メモBへ 日常評価メモCへ	授業で見られた 発言などを選択 日常評価メモCへ 授業づくりへ	教材でその生徒が 何を学んだかを選択 授業づくりへ	文末を選択 文末リスト	出席 番号	名前	通知表評価文例 （保護者に伝わりやすいように具体例入り）	文字 数	指導要録評価文例	文字 数
1	光村 花子	2 自分に置き換え	2がんばれ おまえ	「自分にもコンプレックスはあるけれど、否定的ではなく、肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとすることについて深く考え	かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとすることについて深く考えていました。			1 光村 花子	どの教材においても主人公を自分に置き換えることを通して、道徳的価値のよさや、実現することの難しさについて、自分事として考えていました。特に「がんばれ おまえ」では、「自分にもコンプレックスはあるけれど、否定的ではなく、肯定的に捉えようと思った。」と記述していました。かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとすることについて深く考えていました。	182	どの教材においても主人公を自分に置き換えることを通して、自分自身の行動や考えを見直しながら、道徳的価値を実現することの難しさについて、自分事として考えていた。	79

NEW

増補版では、「日常評価メモ C」に記入した内容を

増補版では、「日常評価メモ C」に記入した内容をプルダウンで選択するだけで、評価文例に反映することができます。

各項目を選択して、最後に文例を整えれば完成！



実際に評価業務支援シート(増補版)を使ってみました！

東京都中野区立緑野中学校 佐藤聖子先生

本校では、学級担任だけでなく副担任も含めた教師が、学年全てのクラスを回って授業を行う「ローテーション道徳」に取り組んでいます。各教師の個性を生かして授業をし、生徒と共に考え、見取ります。生徒指導を生活指導部だけで行わないのと同じように、道徳の授業も担任だけでなく皆で行い、学校全体で道徳教育に取り組んでいます。

以下のような手順で、評価業務支援シートを活用しました。

- ① 年度（学期）始めに、道徳担当が評価業務支援シートのデータをクラス別に分け、共有フォルダに格納する。
- ② 授業をした教師が、特に印象に残った生徒の発言・記述・様子などを、授業後に「日常評価メモ C」へ入力する。
- ③ 担任が、生徒自身が行った学期末（前・後期制）の振り返り等も参考にしながら、評価に入れる「日常評価メモ C」を選択する。

上記のような取り組みを行うことで、次のようなメリットがありました。

メリット① 先生どうしの情報共有に！

「日常評価メモ C」の記録には、各授業における授業者ならではの視点や個性が出ました。全学年の教師が全クラスの生徒の発言や記述などを見ることができ、道徳の授業づくりの参考にしたり、生徒理解を深めたり、自分が実施する道徳や教科の授業と結び付けたりと、あらゆる方法で活用する先生方の姿が見られました。

メリット② 他教科連携のヒントに！

道徳の授業を行う際、自分の担当教科に重ねながら授業を進める先生は多いのではないのでしょうか。例えば、3年「ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞」の授業で意欲的に取り組んだ生徒は、美術に関心がある生徒だとわかりました。「日常評価メモ C」の記録を見た美術の教員は、自身の担当教科でもそのことを念頭に置いて授業を進めたり、道徳での学習内容を美術の授業に関連させたりしたそうです。

メリット③ 負担の分散に！

教師全員で協力しながら記録することで、特定の教師のみに評価業務が偏らず、負担を分散させることができました。皆で無理なくよりよい評価を行うことを目標に、記録を各時間2～3名程度行うことで、評価をつける際に全生徒を網羅することができました。

メリット④ 授業や生徒の様子が伝わる評価に！

「日常評価メモ C」の記録をもとに評価を作成するようになってから、保護者から感動・感謝の声が聞かれるようになりました。各教師が多方面から細やかに記録した生徒の発言・記述・様子がそのまま評価に反映されるため、「こんなことを考えていたなんて」「普段口にしない気持ちが伝わってきた」という反響がありました。各授業でどんなことを考えたのか、生徒も保護者も振り返ることができる評価になったと感じました。



光村図書

発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話: 03-3493-2111(代表)
イラスト 野本雄一郎
発行 2026年3月

光村図書ウェブサイト
光村図書 | Q

